

新潟市園芸作物販売戦略会議 体制図

【趣旨】新潟市と農業団体等による官民連携の販売促進体制を確立し、増産を図っている園芸作物の首都圏等への販路開拓・販売促進に地域一体となって取り組むため、新潟市園芸作物販売戦略会議を設置するもの。

新潟市園芸作物販売戦略会議（代表者会議） 意思決定

区分	団体名
農業団体	新潟市農業協同組合
	新潟かがやき農業協同組合
行政	新潟市

【オブザーバー】：全国農業協同組合連合会新潟県本部、新潟中央青果（株）

【販売戦略会議の主な役割】

- 園芸作物に関する情報共有（重点品目、作付面積、生産数量、出荷時期等）
- 販売方針の共有（いつ、何を、何処に、どれだけ売り込むのか）
- 官民連携による販促活動（首都圏等市場関係者へのトップセールス、首都圏等消費者を対象にした試食宣伝会・キャンペーン開催、週末マルシェ出店支援）
- 新たな商品開発への支援
- 新型コロナウイルス禍での新たな販促活動の手法やあり方検討



《販売戦略ワーキンググループ（実務担当者会議）》 販売促進活動の企画提案・内容調整

全国農業協同組合連合会新潟県本部、市内2農協、新潟中央青果、新潟市農産物販路拡大アドバイザー、産業振興課長グループ会議代表、食と花の推進課

※区役所産業振興課長グループ会議で適宜情報共有



意見交換

《連携事業者》

販売促進活動の内容に応じて適宜連携

- ・県外卸&仲卸、流通業者、地域商社、加工業者
- ・百貨店、小売店、飲食店
- ・首都圏等自治体（東京都豊島区等）